

平成 29 年度 第 3 回助産塾スキルアップ研修会 平成 29 年 8 月 26 日

「分娩期の胎児心拍数モニタリング」症例を詳しくレベル判断方法を学ぶ

講師 下川浩（産婦人科医師）

真田産婦人科医院 医師

下川先生には昨年に引き続き「分娩期の胎児心拍数モニタリング」をご講演いただきました。この研修会は「助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証研修」承認研修会であり、日本助産師会会員、非会員を問わず多くの助産師、看護師と助産師学生の皆さまが参加してくださいました。

研修会では講演前に事前テストを行い、自己採点を行った上で、下川先生のご講演を伺い、モニタリングに関する基本的な知識を丁寧にご説明いただきました。また下川先生の長きにわたる臨床での経験談を熱く語ってくださる中で胎児心拍数モニタリングの重要性や俊敏な判読と対応の必要性、医師が求める助産師・看護師としての具体的な対応などお教えいただきました。後半は具体的な症例をもとに参加者がグループで判読しあい、アセスメントと対応を発表しながら先生にコメントをいただき、あっという間に 3 時間が過ぎ去りました。

研修会後のアンケートには「分かりやすく、事例もあったため勉強になった」「先生のお話がとても分かりやすく間違ってもいいあたたかい雰囲気だったのがとてもよかった」「助産師としての意識が高まった」といった感想が多く挙がっており、下川先生のお人柄が表れた研修会であったと感じています。

また研修会後に行いました事後テストの採点も下川先生自らお引き受けくださり、70 名を超える一人一人の解答用紙にコメントを書き入れてくださいました。大切な解答用紙はその後皆さま方へ郵送させていただき、しっかりと復習し、助産師・看護師として臨床で役立ててもらっていることと思います。

下川先生、誠にありがとうございました。またぜひ次の機会も母子を護る助産師、看護師のためによりしくお願いいたします。

文責：吉田静



平成 29 年度 第 4 回助産塾スキルアップ研修会 平成 29 年 9 月 9 日

「産科出血」事例を通して、対応を学ぶ

講師 坂井和裕（産婦人科医師）

エンゼル医院 理事長

2017 年 9 月 9 日「救急の日」に、安全対策委員会と教育委員会が共同して「産科出血」に関する研修会を行い、坂井先生にご講演をいただきました。

この研修会は「助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証研修」承認研修会であり、日本助産師会会員、非会員を問わず多くの助産師、看護師の皆さまが参加してくださいました。特に「産科出血」という分娩に直結したテーマであるため助産所部会の方の参加が目立ちました。

研修会では講演前に事前テストを行い、自己採点を行った上で、坂井先生のご講演を伺いました。坂井先生には本研修会の準備として 100 枚を超えるスライド資料を作成くださり、自施設の貴重なデータも公表しながら解説をしてくださいました。講演の合間には先生のご趣味のお話も挟んでくださり、緊張した研修内容とユーモラスなお話に頭を切り替えていただきながら長時間に渡ってご講義いただきました。

研修会後のアンケートには「講師の先生がとても素晴らしいと思いました。とてもわかりやすい講義でした。研修が飽きないように世界遺産の貴重なお写真も見せてくださり感動しました」「今回のテーマは全分娩例に対して考えられるテーマで、私たちの知識や技術次第で少しでも救えることができると考えさせられました。自分の意識づけられとても勉強になりました」など、参加者に多くの刺激をいただいた研修会となりました。

研修会開催半ばで坂井先生が「今回の（講師の）機会を得て、自分自身も勉強になりました。次も研修会を引き受けましょうか」とおっしゃってくださった言葉が大変嬉しく、助産師をバックアップしてくださる坂井先生に勇気をいただきました。先生のお言葉は忘れておりません。ぜひ来年も研修を行ってくださいますようよろしく願いいたします。

文責：吉田静

